

2022
2023

東海大学大学院 入学試験要項

一般入学試験 社会人特別入学試験 秋学期

[2022年10月入学者対象]

春学期(第1期/第2期)

[2023年4月入学者対象]



建学の精神

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。

創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え
若き日に汝の体軀を養え
若き日に汝の智能を磨け
若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

アドミッションポリシー

それぞれの課程において学びのために必要な学力を有した者で、本学の「建学の精神」と、以下に示す教育理念を理解し、専門性を高める意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

1. 専門に対応できる基礎力と幅広い視野を有し、自ら学ぶ意欲を持つ者
2. 高度専門職業人として、調和のとれた文明社会の建設に大きな役割を担う意欲のある者
3. 広く自らの世界観・歴史観を持ち、諸現象を多面的に捉えて考える意思のある者。

■ 研究科・専攻のアドミッションポリシー

各研究科・専攻のアドミッションポリシーは、東海大学オフィシャルサイトの各研究科のページにある「教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー」に掲載していますので、ご確認ください。

東海大学オフィシャルサイト <https://www.u-tokai.ac.jp/>

目的

本大学院は東海大学建学の精神に則り、専門分野における高度な学術の理論及び応用を教授研究し、その意義を認識すると同時に、その深奥を究め、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを目的としています。

研究指導教員について

研究指導教員については、秋学期入学希望者は東海大学オフィシャルサイトに掲載の「教員組織表」、春学期入学希望者は「東海大学 大学院ガイド2023」でご確認ください。

所在地 (2022年度秋学期／2023年度入学生の大学院・各学部の授業校舎は下記のとおりです)

湘南校舎

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

電話：0463-58-1211 (代表)

文学研究科・政治学研究科・経済学研究科・法学研究科・人間環境学研究科・芸術学研究科・体育学研究科・健康学研究科*・理学研究科・工学研究科 (医用生体工学専攻を除く) *設置届出中

文学部・文化社会学部・教養学部・児童教育学部・体育学部・健康学部・法学部・政治経済学部・経営学部・国際学部・観光学部・情報通信学部・理学部・情報理工学部・建築都市学部・工学部

渋谷校舎

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4

電話：03-3467-2211 (代表)

高輪校舎

〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

電話：03-3441-1171 (代表)

情報通信学研究科

伊勢原校舎

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143

電話：0463-93-1121 (代表)

工学研究科医用生体工学専攻・医学研究科

医学部

清水校舎

〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

電話：054-334-0411 (代表)

海洋学研究科

海洋学部・人文学部

熊本校舎

〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿^{とろく}9-1-1

電話：096-382-1141 (代表)

農学研究科

文理融合学部・農学部

*農学研究科の教育・研究については「阿蘇くまもと臨空校舎(2023年4月開設予定)」、「熊本校舎」及び「阿蘇実習フィールド」にて充実を図ります。

札幌校舎

〒005-8601 北海道札幌市南区南沢^{みなみさわ}5条1-1-1

電話：011-571-5111 (代表)

生物学研究科

国際文化学部・生物学部

総合理工学研究科・生物科学研究科の入学後の校舎(配属校舎)は、研究指導教員の所属する校舎となります。

*所属校舎が「熊本校舎」の研究指導教員については「阿蘇くまもと臨空校舎(2023年4月開設予定)」、「熊本校舎」及び「阿蘇実習フィールド」にて教育・研究の充実を図ります。

目次

共通①

- 1 入学定員 2
- 2 日 程 4
- 3 選抜方法 4
- 4 出願手続 5
- 5 身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮 6

一般入学試験

- 1 出願資格 7
- 2 試験内容 9
- 3 試験上の注意 14

社会人特別入学試験

- 1 出願資格 15
- 2 試験内容 16
- 3 試験上の注意 19

共通②

- 1 合格発表・入学手続 20
- 2 学費・諸会費 22
- 3 個人情報の活用について 23
- 4 安全保障輸出管理について 23

共通①

1 入学定員

1. 修士課程・博士課程前期（修業年限2年）

○：実施 ×：実施しない

校舎	研究科名	専攻名	略名	入学定員	社会人特別入試	
湘南	文学研究科	文明研究専攻	文明M	8名	○	
		史学専攻	史学M	8名	○	
		日本文学専攻	日本文学研究コース	日文M	8名	○
			日本語教育学コース			
		英文学専攻	英文M	4名	○	
		コミュニケーション学専攻	メディア学コース	コミM	8名 ^{※1}	○
	社会学コース					
	臨床心理学コース					
	観光学専攻	観光M	8名	○		
	政治学研究科	政治学専攻	政治学研究コース	政治M	10名	×
			地方行政研究コース			
			国際政治学研究コース			
	経済学研究科	応用経済学専攻	応経M	10名	○	
	法学研究科	法律学専攻	法律M	10名	×	
	人間環境学研究科	人間環境学専攻	人環M	10名	○	
	芸術学研究科	音響芸術専攻	音響M	4名	○ ^{※2}	
		造型芸術専攻	造型M	4名	○	
体育学研究科	体育学専攻	体育M	20名	○		
健康学研究科 ^{★※3}	健康マネジメント学専攻	健マM	6名	○		
理学研究科	数理学専攻	数学コース	数理M	8名	○	
		情報数理学コース				
	物理学専攻	物理M	12名	○		
化学専攻	化学M	12名	○			
工学研究科	電気電子工学専攻	電電M	50名	○		
	応用理化学専攻	応理M	45名	○		
	建築土木工学専攻	建土M	25名	○		
	機械工学専攻	機械M	75名	○		
伊勢原		医用生体工学専攻	医用M	8名	○	
高輪	情報通信学研究科	情報通信学専攻	情報M	30名	○	
伊勢原	医学研究科 [★]	医科学専攻	医科M	10名	×	
		看護学専攻 ^{※3}	看護M	8名	○	
清水	海洋学研究科	海洋学専攻	海海M	20名	×	
熊本	農学研究科	生物資源科学コース	農学M	12名	○	
		生命科学コース				
		連携大学院				
札幌	生物学研究科	生物学専攻	生物M	8名	○	

※1 募集定員はメディア学コース2名、社会学コース2名、臨床心理学コース4名。

※2 「演奏分野」を除く。

※3 設置届出中

★ 健康学研究科、医学研究科は秋学期入学試験を実施しません。

注意 入学定員は、本学が行うすべての大学院入学試験における4月入学者と10月入学者の合計の定員です。

■ 臨床心理士受験資格の指定大学院「第1種」の指定について

文学研究科コミュニケーション学専攻・臨床心理学コースは、日本臨床心理士資格認定協会から受験資格に関わる「第1種」の指定を受けております。これにより、文学研究科コミュニケーション学専攻で「臨床心理学コース」の授業科目を履修し、所定の単位を修得して修了した者は、「臨床心理士資格試験」の受験が可能となります。

■ 公認心理師受験資格への対応について

文学研究科コミュニケーション学専攻・臨床心理学コースは、公認心理師養成に対応しています。本教育課程の指定された科目を修めた者は、公認心理師の受験資格要件を満たすことができます。公認心理師資格及び公認心理師資格養成のカリキュラムについては、厚生労働省ホームページにて最新の情報を確認したうえで出願してください。なお、入学後の就労を予定している場合は、学業との両立についてよく検討のうえ、出願してください。本専攻・臨床心理学コースでは、就労を理由とした特別な配慮は、カリキュラム上行うことができません。

■ 専門看護師受験資格の教育課程の認定について

医学研究科看護学専攻は日本看護系大学協議会から、専門看護師（がん看護・遺伝看護・クリティカルケア看護・家族看護）の教育課程として認定されています。専門看護師教育課程に必要な授業科目を修めた者、さらに一定の条件を満たした者は、「専門看護師資格試験」の受験が可能となります。

2. 博士課程・博士課程後期(標準修業年限3年、ただし医学研究科は、標準修業年限4年)

○：実施 ×：実施しない

校舎	研究科名	専攻名	略名	入学定員	社会人特別入試	
研究指導教員の所属する校舎	総合理工学研究科	物理・数理学コース	理工D	35名	○	
		情報理工学コース				
		電気・電子コース				
		生命理工学コース				
		材料・化学コース				
		機械・航空宇宙コース				
		建築・土木コース				
		海洋理工学コース				
		地球環境科学コース				
	生物科学研究科	生物科学専攻	生物資源科学コース 生命科学コース	生科D	10名	○
湘南	文学研究科	文明研究専攻	文明D	4名	○	
		史学専攻	史学D	4名	○	
		日本文学専攻	日文D	4名	○	
		英文学専攻	英文D	2名	○	
	コミュニケーション学専攻	メディア学コース	コミD	4名	○	
		社会学コース				
		臨床心理学コース				
	政治学研究科	政治学専攻	政治学研究コース	政治D	5名	×
			地方行政研究コース			
			国際政治学研究コース			
経済学研究科	応用経済学専攻	応経D	5名	○		
法学研究科	法律学専攻	法律D	5名	×		
体育学研究科	体育学専攻	体育D	3名	○		
伊勢原	医学研究科*	先端医科学専攻	先端D	35名	×	

★医学研究科は秋学期入学試験を実施しません。

注意 入学定員は、本学が行うすべての大学院入学試験における4月入学者と10月入学者の合計の定員です。

■ 医学研究科博士課程の授業について

医学研究科博士課程では、大学院の授業・研究指導を受け易くするために、大学院設置基準第14条による教育方法の特例を活用して、昼夜開講制による授業を実施しております。

2 日程

	研究科名	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間	入学時期
秋学期	総合理工学研究科	Web登録	2022年 7月10日(日)	2022年 7月20日(水)	Web登録	2022年 10月
	生物科学研究科	2022年 6月6日(月)			2022年 7月20日(水)	
春学期 (第1期)	文学研究科	6月6日(月)	2022年 7月10日(日)	2022年 7月20日(水)	8月2日(火) 17:00厳守	
	政治学研究科	6月15日(水) 18:00厳守				
	経済学研究科	出願書類郵送期限				
	法学研究科	2022年 6月17日(金) 締切日必着				
	人間環境学研究科	2022年 11月9日(水)				
春学期 (第2期)	芸術学研究科	2022年 11月17日(木) 17:00厳守	2023年 2月18日(土)	2023年 3月3日(金)	Web登録	2023年 4月
	体育学研究科	2023年 1月6日(金)				
	健康学研究科*	1月13日(金) 18:00厳守				
	理学研究科	出願書類郵送期限				
	工学研究科	2023年 1月16日(月) 締切日必着				
	情報通信学研究科	2023年 3月3日(金)				
	医学研究科*	3月10日(金) 17:00厳守				
海洋学研究科						
農学研究科						
生物学研究科						

★健康学研究科、医学研究科は秋学期入学試験を実施しません。

- 注意**
- 1) 出願の前に、入学種別及び入学時期を必ず確認してください。
 - 2) 日本国外の大学等を卒業した方は出願資格審査があります。詳細はP.8を確認してください。
 - 3) 新型コロナウイルス感染症の状況により、入試日程、内容等が変更になる場合があります。最新情報は、東海大学オフィシャルサイトを必ずご確認ください。

■ 試験場

研究科	試験場 (住所)
総合理工学・生物科学研究科	大学の指定する校舎 (受験票にて確認してください。)
文学・政治学・経済学・法学・人間環境学・芸術学・体育学・健康学・理学・工学研究科	東海大学湘南校舎 (神奈川県平塚市北金目4-1-1)
情報通信学研究科	東海大学高輪校舎 (東京都港区高輪2-3-23)
医学研究科	東海大学伊勢原校舎 (神奈川県伊勢原市下槽屋143)
海洋学研究科	東海大学清水校舎 (静岡県静岡市清水区折戸3-20-1)
農学研究科	東海大学熊本校舎 (熊本県熊本市東区渡鹿 ^{とろく} 9-1-1)
生物学研究科	東海大学札幌校舎 (北海道札幌市南区南沢 ^{みなみさわ} 5条1-1-1)

※試験実施場所は、試験当日に各入構門・受付等にてお知らせします。

■ 受験生に対する傷害保険について

本学は、入学試験に際し、試験当日の受験生の偶発的な傷害・災害について、一定の補償をする傷害保険に加入しています。

3 選抜方法

1. 本学所定の書類による書類審査
2. 各研究科・専攻が定める試験

4 出願手続

出願はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトの「Web出願」のバナーから「大学院Web出願サイト」にアクセスし、出願手続を行ってください。以下のURLまたはQRコードからもアクセス可能です。

大学院Web出願サイトURL ▼
<https://sak-sak.net/app/tokaigs>



1. 出願方法

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） [Web登録] 2022年 6月 6日(月)～ 6月15日(水) 18:00厳守
 [出願書類郵送期限] 2022年 6月17日(金) 締切日必着

2023年度春学期（第2期） [Web登録] 2023年 1月 6日(金)～ 1月13日(金) 18:00厳守
 [出願書類郵送期限] 2023年 1月16日(月) 締切日必着

- 「大学院Web出願サイト」へアクセスし、個人情報等の入力や顔写真登録を行ってください。
- 顔写真登録後、画面の指示にしたがい、入学検定料をお支払いください。入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認してからお支払いください。支払い後、志願登録票の印刷をしてください。
- 「宛名ラベル」（本学所定）を貼った封筒に出願書類を入れ、簡易書留で郵送してください。出願書類は、出願締切日までに到着するように郵送してください。郵送先は「宛名ラベル」に明記してありますが、次のとおりです。

出願書類郵送先

研究科名	郵送先
総合理工学研究科 生物科学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学 入試担当 Tel. 0463-63-4660(直通)
文学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 ヒューマンソサエティカレッジオフィス Tel. 0463-63-4201(直通)
政治学研究科 経済学研究科 法学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 グローバルシチズンカレッジオフィス Tel. 0463-63-4370(直通)
人間環境学研究科 芸術学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 リベラルエデュケーションカレッジオフィス Tel. 0463-63-4350(直通)
体育学研究科 健康学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 ウェルネスクレッジオフィス Tel. 0463-63-4340(直通)
理学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 サイエンステクノロジーカレッジオフィス Tel. 0463-63-4211(直通)
工学研究科	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 エンジニアリングカレッジオフィス Tel. 0463-63-4210(直通)
情報通信学研究科	〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23 東海大学高輪校舎 グローバルシチズンカレッジオフィス 高輪ランチ(教学担当) Tel. 03-3441-1171(代表)
医学研究科	〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143 東海大学伊勢原校舎 メディカルサイエンスカレッジオフィス(教学ユニット) Tel. 0463-93-1121(代表)
海洋学研究科	〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1 東海大学清水校舎 スルガベイクレッジ静岡オフィス(教学担当) Tel. 054-334-0411(代表)
農学研究科	〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1 東海大学熊本校舎 フェニックスカレッジ熊本オフィス(入試広報担当) Tel. 096-382-1141(代表)
生物学研究科	〒005-8601 北海道札幌市南区南沢5条1-1-1 東海大学札幌校舎 ウチムラカンゾウカレッジ札幌オフィス(広報担当) Tel. 011-571-5111(代表)

2. 入学検定料 32,000円

「大学院Web出願サイト」にて、お支払いください。

詳細については、上記のURLまたはQRコード等から「大学院Web出願サイト」にアクセスし、確認してください。

3. 出願書類

以下の出願書類のほかにも面接に必要な書類があります。提出期限・場所についての詳細は本学オフィシャルサイトをご確認ください。

出願書類	
1	<p>志願登録票 大学提出用2種類 [所定用紙]</p> <p>・大学院Web出願サイトにて個人情報、顔写真データの登録及び入学検定料の支払い後、マイページで印刷できるようになります。記載内容を確認し、所定の欄に学歴・職歴等を記入のうえ提出してください。</p>
2	<p>出願資格に係わる最終学歴の成績証明書 [最近3か月以内に出身校が発行したもの]</p> <p>・記載されている氏名が異なっている者は、これを証明する公的機関の証明書（戸籍抄本・最近3か月以内に発行されたもの）を添付してください。</p> <p>・日本語または英語以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関、日本語学校、翻訳会社が証明する日本語または英語の訳文を添付してください（作成年月日、訳者氏名、住所、電話番号、署名（または印）を明記）。</p>
3	<p>出願資格に係わる最終学歴の卒業（見込）証明書または修了（見込）証明書 [最近3か月以内に出身校が発行したもの]</p> <p>・記載されている氏名が異なっている者は、これを証明する公的機関の証明書（戸籍抄本・最近3ヶ月以内に発行されたもの）を添付してください。</p> <p>・日本語または英語以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関、日本語学校、翻訳会社が証明する日本語または英語の訳文を添付してください（作成年月日、訳者氏名、住所、電話番号、署名（または印）を明記）。</p>

・出願時に健康診断書を提出する必要はありません。健康診断は入学後、本学において実施しますので必ず受診してください。

- 注意**
- 1) 出願前に希望研究指導教員に相談し、必ず了承を得てください。
 - 2) 出願書類に不備があった場合は、受付けることはできません。
 - 3) 出願後の入学検定料及び出願書類の返還は、いかなる理由があっても認めません。
 - 4) 出願後の申請内容の変更については、いかなる理由があっても認めません。
 - 5) 電話で入学検定料の振込みをお願いすることは一切ありません。
 - 6) 出願書類に不正な記載をした場合、入学後でも合格取消しとなり入学資格を失います。

4. 受験票

- 1) 出願書類を本学にて確認した後、秋学期・春学期（第1期）：2022年6月20日（月）／春学期（第2期）：2023年1月18日（水）より、受験票をダウンロードできます。「大学院Web出願サイト」にログインし、「受験票印刷」からA4サイズで印刷してください。
- 2) 受験票を印刷次第、記載項目を必ず確認してください。
 - ・本人に関する項目：カナ氏名、氏名、生年月日
 - ・試験に関する項目：試験日、受験番号、志望研究科・専攻・コース、略名、試験場、試験開始時間

- 注意**
- 1) 「試験に関する項目」についての出願後の変更は、いかなる理由があっても認めません。
 - 2) 試験場及び交通機関等の確認をしてください。
 - 3) 漢字氏名については、原則としてJIS（日本産業規格）で定義される第1水準及び第2水準漢字を使用します。規格にない漢字は、入力することができません。

受験票が確認できない場合や、受験票記載の「本人に関する項目」の間違いについては、志願先のカレッジオフィス（P.5参照）へお問い合わせください。

5 身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮

身体機能等に障がいがあり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする志願者は、配慮希望等について下記期日までに、必ず東海大学入試担当にお問い合わせください。

必要とする配慮の内容について十分な検討をしたうえで、本学の特別配慮内容を回答します。

志願者は、本学の特別配慮内容を了承のうえ出願していただきますので、早めにお問い合わせください。

なお、出願書類提出後、不慮の事故などにより、特別な配慮が必要となった場合は、速やかに相談してください。

■ お問い合わせ期日

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） 2022年 5月20日（金）

2023年度春学期（第2期） 2022年12月 2日（金）

■ お問い合わせ先

東海大学入試担当 電話 0463-63-4660（直通）

一般入学試験

1 出願資格

1. 修士課程・博士課程前期

学校教育法第102条の規定により、次の各号の一つに該当する者。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに卒業見込みの者。
- (2) 大学に3年以上(入学時まで3年または3年6か月の課程を修了見込みの者(注))在学した者で、かつ所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者。ただし、休学期間は在学年数に算入しない。(注)本学の在学者は、第6セメスターまたは第7セメスターとする。
- (3) 学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ①学校教育法第104条第4項の規定により(大学改革支援・学位授与機構により)学士の学位を授与された者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに授与される見込みの者。
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに修了見込みの者。
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに修了見込みの者。
 - ④我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに修了見込みの者。
 - ⑤外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価をうけたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに授与される見込みの者。
 - ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに修了見込みの者。
 - ⑦文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。
 - ⑧学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者(大学院に飛び入学した者)であって、当該者をその後に入学させる本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
 - ⑨本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳以上の者(2000年10月1日(秋学期入学者)／2001年4月1日(春学期入学者)以前に出生した者)。

2. 博士課程・博士課程後期

学校教育法第102条第1項ただし書きの規定により、次の各号の一つに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに修士の学位を有する見込みの者。
- (2) 専門職学位を有する者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに専門職学位を有する見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第156条の規定により、修士の学位を有する者もしくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ①外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに授与される見込みの者。
 - ②外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月(秋学期入学者)／2023年3月(春学期入学者)までに授与される見込みの者。
 - ③我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、

文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月（秋学期入学者）／2023年3月（春学期入学者）までに授与される見込みの者。

- ④国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑤外国の学校、上記③において指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- ⑥文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）。
- ⑦本大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳以上の者（1998年10月1日（秋学期入学者）／1999年4月1日（春学期入学者）以前に出生した者）。

3. 博士課程（医学研究科先端医科学専攻）

学校教育法第102条の規定により、次の各号の一つに該当する者。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学の医学、歯学または修業年限6年の獣医学、薬学を履修する課程を卒業した者及び2023年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 大学院の課程を修了し、修士の学位を有する者及び2023年3月までに修士の学位を有する見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第155条の規定により、前号に定める者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ①学校教育法第104条第4項の規定により（大学改革支援・学位授与機構により）修士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者。
 - ②外国において、学校教育における18年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。
 - ④我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者。
 - ⑤外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価をうけたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者。
 - ⑥文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）。
 - ⑦本大学院において、個別の出願資格審査により、大学（医学、歯学または修業年限6年の獣医学、薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で24歳以上の者（1999年4月1日以前に出生した者）。

❖下線部の出願資格に該当する場合は出願資格審査の対象となり、以下の書類の提出が必要です。

■ 申請期日

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） 2022年 5月31日（火）

2023年度春学期（第2期） 2022年11月30日（水）

■ 提出書類

- ①履歴書（本学所定の用紙）
- ②最終学歴の成績証明書（3ヶ月以内の発行）
- ③最終学歴の卒業（見込）・修了（見込）証明書
- ④推薦書（研究生等の期間を含める者のみ提出）
- ⑤出願資格に相当する論文や研究内容が掲載された資料（準備できる者のみ提出）

提出方法等の詳細は東海大学オフィシャルサイトを確認し、期日までに必ず審査を受けてください。

<https://www.u-tokai.ac.jp/>

2 試験内容

1. 修士課程・博士課程前期

面接欄に提出書類が記載されている場合は、提出期限・場所についての詳細は本学オフィシャルサイトをご確認ください。

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
文学研究科	文明研究専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語選択可（辞書持込不可）※	100点	10:00～ 12:00
		専門：文明研究について（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（様式自由、2,000字程度）を提出すること。		13:00～ (20分)
	史学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語選択可（辞書持込不可）※	100点	10:00～ 12:00
		専門：共通問題1題と選択問題（日本史・東洋史・西洋史・考古学）から1題（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（3,000～4,000字程度）、自己推薦書を提出すること。		13:00～ (30分)
	日本文学専攻 －日本文学研究コース －日本語教育学コース	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語選択可（辞書持込不可）※ ※コースにより出題が異なる。	100点	10:00～ 12:00
		専門：日本文学研究コース受験者、日本語教育学コース受験者によって異なる。問題数は各コースとも3問ずつ（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）、自己推薦書を提出すること。		13:00～ (30分)
	英文学専攻	英語（筆記試験・辞書持込不可）	100点	10:00～ 12:00
		専門：英米文学・言語学・異文化コミュニケーション・英語教育のうち、各自の志望専攻分野に属する1科目（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）、自己推薦書を提出すること。		13:00～ (30分)
	コミュニケーション学専攻 －メディア学コース －社会学コース －臨床心理学コース	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語選択可（辞書持込不可）※ ※コースにより出題が異なる	100点	10:00～ 12:00
		専門：メディア学、社会学、臨床心理学の各分野から出題し、志望するコースのものを選択（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（2,000字程度）、心理職の職能・適性に関する見解（1,000字程度、臨床心理学コースのみ）を提出すること。		13:00～ (30分)
	観光学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語選択可（辞書持込不可）※	100点	10:00～ 12:00
		専門：共通専門科目2題（持込不可）	200点	
		面接		13:00～ (20分)
政治学研究科	政治学専攻 －政治学研究コース －地方行政研究コース －国際政治学研究コース	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：政治学研究、地方行政研究、国際政治学研究の3つのコースに関して、各自が研究指導を志望する科目から1題選択し、志望したコースの「コース問題」と併せて計2題を解答すること。問題は各コースについてそれぞれ6題以上出題される（持込不可）。 なお、研究指導を志望できる科目は以下のとおりである。政治学、西洋政治思想史、政治過程、日本政治史（以上、政治学研究コース）、行政学、地方行政、都市政策（以上、地方行政研究コース）、国際政治学、国際政治経済研究、国際関係理論特論（以上、国際政治学研究コース）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（様式自由であるが、1,200字以上で具体的であることが望ましい）を提出すること。		

※日本語での受験については、原則として次のいずれかに該当している者は、選択できません。

- 1) 日本の中学校・高等学校・大学（大学院を含む）のいずれかに入学をして卒業（見込）の者
- 2) 出願締切日までの過去10年間に合計5年間以上日本に在留（居住）した者
- 3) P.7「**7** 出願資格1. (2)」に該当する者（飛び級）

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
経済学研究科	応用経済学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：希望研究指導教員を指定する場合は希望指導教員の出題する問題、指定しない場合は経済学または経営学の基礎問題（持込不可）	200点	
		面接		13:00～ (20分)
法学研究科	法律学専攻	専門：科目群①〔憲法、税法、刑事法（刑法・刑事政策）、刑事法（刑事訴訟法）、民法、商法、民事訴訟法、国際法、法社会学〕から希望研究指導教員の専門分野と同じ名称の科目を選択	150点	10:00～ 12:00
		専門：科目群②〔憲法、行政法、税法、刑事法（刑法・刑事政策）、刑事法（刑事訴訟法）、民法、商法、民事訴訟法、経済法、国際法、法社会学、英米法、外国語（英語）、外国語（ドイツ語）、外国語（フランス語）〕から科目群①で選択した科目以外の科目を選択。（六法持込可（ただし1種類に限る。判例・通達・学説・解説付きのものは不可）・外国語は辞書持込可（電子辞書除く））	150点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4版2頁程度、書式自由）を提出すること。		13:00～ (30分)
人間環境学研究科	人間環境学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：社会科学または自然科学の視点で環境学を踏まえて解答すること。	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。自己推薦書を提出すること。		13:00～ (20分)
芸術学研究科	音響芸術専攻	専門：音楽学分野・演奏分野のいずれかを選択。 音楽学分野：筆記試験（持込不可） 演奏分野：実技試験 下記の種目からいずれか1つを選択し、15分程度のプログラムを組んで実演。ピアノ・声楽・弦楽器・管楽器・打楽器・古楽器・邦楽器・作曲（自作のプレゼンテーション） ※プログラム（作曲は作品一点）は事前に希望研究指導教員へ提出すること。	200点	10:00～ 12:00
		面接：外国語（英語）に関する口述試問及び面接試問	外国語 100点	
	造型芸術専攻	造型芸術専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語の選択も可（辞書持込不可）※	100点
専門：「美術学」または「デザイン学」のいずれかを選択（持込不可） 美術学：美術に関する小論文（1,600字程度） デザイン学：デザインをテーマとする小論文（1,600字程度）			200点	
面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙1枚、書式自由）、作品または業績資料・ポートフォリオを提出すること。				13:00～ (20分)
体育学研究科	体育学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：共通問題1題（英語）と選択問題（6題の中から任意の3題）。選択問題はスポーツ文化社会科学、スポーツ医科学、実践スポーツ科学の3分野から出題（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁40字×30行）を提出すること。		13:00～ (20分)
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：〔社会科学、運動科学、栄養科学〕から任意の1科目選択（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。自己推薦書（A4用紙1頁、書式自由）を提出すること。		13:00～ (20分)

※日本語での受験については、原則として次のいずれかに該当している者は、選択できません。

- 1) 日本の中学校・高等学校・大学（大学院を含む）のいずれかに入学をして卒業（見込）の者
- 2) 出願締切日までの過去10年間に合計5年間以上日本に在留（居住）した者
- 3) P.7 「7」出願資格1. (2) に該当する者（飛び級）

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
理学研究科	数理学専攻 - 数学コース - 情報数理学コース	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） ※コースにより出題が異なる	100点	10:00～ 12:00
		専門：持込不可 数学コース…共通問題2題（微積分、線形代数）・選択問題2題（代数、幾何、解析、応用数学の各分野から2題ずつの出題） 情報数理学コース…共通問題3題（微積分、線形代数、プログラミング）・選択問題2題（代数、幾何、解析、確率・統計、離散数学、情報の各分野から2題ずつの出題）	200点	
		面接		
	物理学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：共通問題（3題）と選択問題（5題の中から1題を選択）。 選択問題は理論系（物理数学・量子力学）・レーザー・プラズマ・分子複雑系・宇宙の5分野から出題（持込不可）	200点	
		面接		
化学専攻		外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
	専門：数題を選択（持込不可）	200点		
	面接			13:00～ (15分)
	電気電子工学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
専門：〔電気磁気学、電気回路学、応用数学、情報工学、画像工学、制御工学、光学、生体医工学〕から3問選択（持込不可）		200点		
面接：提出書類に基づく面接試験を実施。入学後の研究計画書（様式・枚数自由）を提出すること。			13:00～ (20分)	
工学研究科	応用理化学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：希望研究指導教員の専門領域に対応する以下の専門科目を1科目選択し、解答すること。専門科目：生命化学、応用化学、原子力工学、金属材料工学（いずれの専門科目も関数電卓のみ持込可（プログラム機能は使用不可））	200点	
	面接			13:00～ (20分)
建築土木工学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00	
	専門：下記の2科目から1科目選択（関数電卓のみ持込可（プログラム機能は使用不可）） 1. 建築学〔建築計画・意匠、都市計画、建築史、建築構造力学、建築材料・施工、建築環境・設備〕から2問選択 2. 土木工学〔材料・構造力学、土の力学、水理学、コンクリート工学、土木計画〕から3問選択	200点		
	面接：提出書類に基づく面接試験を実施。入学後の研究計画書（様式・枚数自由）を提出すること。			13:00～ (20分)
機械工学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00	
	専門：〔材料力学、機械力学、熱力学、流体力学、機械材料学・加工学、制御工学〕から2科目選択（持込不可）	200点		
	面接：卒業研究あるいは修士の研究計画の内容に関する口述試験。まず、5分間のプレゼンをPC等を用いて行い、その後、専門分野も含めた質疑応答を行う。なお、PC等は持参すること。			13:00～ (20分)
	医用生体工学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
専門：以下の3科目計12問より5問選択すること。ただし、各科目から1問以上選択すること（持込不可） 1. 基礎自然科学〔数学、物理学、化学、生物学の分野〕の4問 2. 基礎工学〔電気・電子工学、制御工学、材料工学、機械工学の分野〕の4問 3. 基礎医学〔解剖・生理学、臨床医学総論の分野〕の4問		200点		
	面接：提出書類に基づく面接試験を実施。入学後の研究計画書（様式・枚数自由）を提出すること。			13:00～ (20分)

※日本語での受験については、原則として次のいずれかに該当している者は、選択できません。

- 1) 日本の中学校・高等学校・大学（大学院を含む）のいずれかに入学をして卒業（見込）の者
- 2) 出願締切日までの過去10年間に合計5年間以上日本に在留（居住）した者
- 3) P.7「7出願資格1.(2)」に該当する者（飛び級）

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
情報通信学研究科	情報通信学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く）） 留学生は日本語の選択も可（辞書持込不可）*	100点	10:00～ 12:00
		専門：「小論文」を必須とし、以下の11科目から3科目選択する（持込不可） 「数学」「プログラミング」「データ構造とアルゴリズム」「認知科学」「画像処理」「コンピュータシステム」「ソフトウェア工学」「経営システム工学1」「経営システム工学2」「通信ネットワーク」「情報通信セキュリティ」	200点	
		面接		13:00～ (20分)
医学研究科	医科学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～
		専門：小論文（持込不可）	200点	12:00
		面接		13:00～ (15分)
	看護学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～
専門：〔臨床看護学、地域・産業・精神保健看護学、家族看護学、クリティカルケア看護学、がん看護学、遺伝看護学〕から任意の1科目選択（持込不可）		200点	12:00	
	面接		13:00～ (15分)	
海洋学研究科	海洋学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：基礎科目〔時事、物理、化学、生物、地学〕から1科目選択及び専門科目〔海洋社会科学、海洋科学、生物科学、水産学〕から1科目選択（各専門科目には複数問設定し、その中から1問選択）（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2頁程度・40字×35行）、自己推薦書を提出すること。		13:00～ (20分)
農学研究科	農学専攻 - 生物資源科学コース - 生命科学コース - 連携大学院	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：希望するコースの下記科目のうち、2科目を選択すること。ただし、うち1科目は希望研究指導教員の専門科目であること（電卓持込可） 生物資源科学コース…〔作物学、果樹園芸学、蔬菜花卉園芸学、植物遺伝育種学、植物病理学、細胞遺伝学、植物細胞工学、植物代謝生理学、害虫管理学、草地生態学、動物生態学、動物繁殖学、動物栄養学、動物行動学、動物遺伝学、動物生殖生理学、動物生体機構学〕 生命科学コース…〔タンパク質化学、生化学、ペプチド・タンパク質化学、天然物化学、分析化学、分子遺伝学、食品化学、食品生化学、食品機能科学、食品衛生学〕 なお、連携大学院は、上記コースの科目のうち2科目を選択すること。	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4縦用紙・1,200字程度）を提出すること。		13:00～ (20分)
生物学研究科	生物学専攻	外国語（英語、辞書持込可（電子辞書除く））	100点	10:00～ 12:00
		専門：小論文（生物学に関する複数テーマの中から1テーマを選択）（持込不可）	200点	
		面接：提出書類に基づく面接試問を実施。入学後の研究計画書（A4用紙1～2頁程度・40字×35行）を提出すること。		13:00～ (20分)

※日本語での受験については、原則として次のいずれかに該当している者は、選択できません。

- 1) 日本の中学校・高等学校・大学（大学院を含む）のいずれかに入学をして卒業（見込）の者
- 2) 出願締切日までの過去10年間に合計5年間以上日本に在留（居住）した者
- 3) P.7 「7」出願資格1. (2) に該当する者（飛び級）

2. 博士課程

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
総合理工学研究科	総合理工学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション (過去の研究経過及び今後の研究計画について。10分程度) ・面接試問 (プレゼンテーションについての試問。外国語についての学力及び専攻分野に関する口述試験を含む) 修士論文の要旨[*]、入学後の研究計画書(研究テーマ選択の動機、研究目的及び研究方法について。A4縦用紙・1,200字程度)を提出すること。 [*]修士課程・博士課程前期修了見込者は修士論文の中間報告書の要旨、修士論文がない場合はそれに相当するものの要旨 	/	10:00～ (30分)
生物科学研究科	生物科学専攻			
医学研究科	先端医科学専攻	外国語(英語、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了(見込)者のみ)、入学後の研究計画書(所定の様式)を提出すること。	/	11:30～ (20分)

(注) プレゼンテーションの際に総合理工学研究科では、プロジェクトと、RGB端子のケーブル及びHDMI端子のケーブルを準備します。それ以外の接続コネクタを使用する場合は、各自の責任で変換コネクタ等をご持参ください。生物科学研究科では、プロジェクトのみを準備しますが、RGB以外の接続コネクタを必要とする場合は、事前に研究科へ相談してください。詳細については各研究科にご確認ください。

3. 博士課程後期

研究科名	専攻名	試験科目	配点	試験時間
文学研究科	文明研究専攻 史学専攻 日本文学専攻 英文学専攻 コミュニケーション学専攻	外国語(英語、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了見込者は修士論文の中間報告書)、入学後の研究計画書を提出すること。	/	12:00～ (20分)
政治学研究科	政治学専攻	外国語(英語、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了見込者は修士論文の中間報告書)を提出すること。	/	12:00～ (20分)
経済学研究科	応用経済学専攻	外国語(英語、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了見込者は修士論文の中間報告書)を提出すること。	/	12:00～ (20分)
法学研究科	法律学専攻	外国語(英語、独語、仏語の中から1科目選択、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了見込者は修士論文の中間報告書)を提出すること。	/	12:00～ (20分)
体育学研究科	体育学専攻	外国語(英語、辞書持込可(電子辞書除く))	100点	10:00～ 11:00
		面接:提出書類に基づく面接試問(志望する専攻分野に関連する専門試験)を実施。修士論文の写しとその内容梗概(修士課程修了見込者は修士論文の中間報告書)を提出すること。	/	12:00～ (20分)

3 試験上の注意

1. 試験について

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参し、試験場入場時に掲示してください。
- (2) 試験当日は、試験中も含め「マスク」を必ず着用してください。ただし、本人確認の際は、一時的に「マスク」を外していただきます。
- (3) 試験場及び試験室入場時には、必ず手指消毒（アルコール消毒）をしてください。
- (4) 他者との身体的距離をとり、接触や会話を極力控えてください。
- (5) 試験開始時間の10分前までに試験場に入場し、着席してください。なお、試験日、試験開始時間は、受験票に記載されていますので、十分確認してください。
- (6) 試験日、試験開始時間及び試験場間違いの受験は一切認めませんので、受験票の記載事項を確認してください。
- (7) 試験開始後20分までに試験場にて受付をしない場合は、受験を認めません。
- (8) 試験当日、受験生以外は試験場内に入れません。
- (9) 試験中は、試験室内からの中途退室を許可しません。中途退室をした場合は、以後の受験は認められません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合は、手を挙げて試験監督者の指示にしたがってください。
- (10) 指定された試験科目をすべて受験していない場合は、合否判定の対象となりません。
- (11) 試験場においては、すべて試験監督者・面接担当教員等の指示にしたがってください。したがわれない場合は、退場させることがあります。
- (12) 筆記試験または実技試験を受験していない場合は、面接試験を受けることができません。
- (13) 試験場内では、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等の電子機器類の使用を禁止します。入場時には必ず電源を切っておいてください。時計としての使用も認めません。辞書・電卓・通信機器等の有無が判別しづらい時計の使用も認めません。

2. 試験当日の持参品

- (1) 受験票、筆記用具
- (2) 志望する専攻において、P.9「**2** 試験内容」に記載されているもの。
- (3) 昼食は持参してください。

3. 不正行為について

試験の実施中に、以下の不正行為が認められた場合、試験監督者が直ちに注意し、試験の中止・退場を指示することがあります。

- ・筆記試験において、使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ・試験監督者及び面接者の指示にしたがわないこと。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

なお、不正行為があったと認められた場合は、以後の受験は認められず、また、本学における当該年度すべての入学試験について無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。

4. その他

- (1) 本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、東海大学オフィシャルサイトより行います。
- (2) 電車遅延等による、試験当日のお問い合わせは、東海大学入試実施本部にご連絡ください。
電話 0463-63-4630（試験当日のみ連絡可能）

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

社会人特別入学試験

1 出願資格

1. 修士課程・博士課程前期

学校教育法第102条の規定により、次の各号の一つに該当する者で、かつ卒業（修了）後社会経験を2年以上有する者。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者。
- (2) 学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ①学校教育法第104条第4項の規定により（大学改革支援・学位授与機構により）学士の学位を授与された者。
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
 - ④我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者。
 - ⑤外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価をうけたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
 - ⑧学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者（大学院に飛び入学した者）であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者。
 - ⑨本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳以上の者（2000年10月1日（秋学期入学者）/2001年4月1日（春学期入学者）以前に出生した者）。

2. 博士課程・博士課程後期

学校教育法第102条第1項ただし書きの規定により、次の各号の一つに該当する者で、かつ修了後社会経験を2年以上有する者。

- (1) 修士の学位を有する者。
- (2) 専門職学位を有する者。
- (3) 学校教育法施行規則第156条の規定により、修士の学位を有する者もしくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各号の一つに該当する者。
 - ①外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - ②外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - ③我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
 - ④国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
 - ⑤外国の学校、上記③において指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
 - ⑥文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）。
 - ⑦本大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳以上の者（秋学期入学者：1998年10月1日/春学期入学者：1999年4月1日以前に出生した者）。

❖下線部の出願資格に該当する場合は出願資格審査の対象となり、以下の書類の提出が必要です。

■ 申請期日

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） 2022年 5月31日（火）

2023年度春学期（第2期） 2022年11月30日（水）

■ 提出書類

- ①履歴書（本学所定の用紙）
- ②最終学歴の成績証明書（3ヶ月以内の発行）
- ③最終学歴の卒業（見込）・修了（見込）証明書
- ④推薦書（研究生等の期間を含める者のみ提出）
- ⑤出願資格に相当する論文や研究内容が掲載された資料（提出できる者のみ提出）

申請方法等の詳細は東海大学オフィシャルサイトを確認し、期日までに必ず審査を受けてください。

<https://www.u-tokai.ac.jp/>

2 試験内容

1. 修士課程・博士課程前期

面接欄に提出書類が記載されている場合は、提出期限・場所についての詳細は本学オフィシャルサイトをご確認ください。

研究科名	専攻名	試験科目	試験時間
文学研究科	文明研究専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。勤務先からの推薦書または自己推薦書、入学後の研究計画書（様式自由、2,000字程度）を提出すること。	10:00～ (30分)
	史学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（3,000～4,000字程度）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)
	日本文学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）を提出すること。	10:00～ (20分)
	英文学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）、卒業論文の写しとその内容梗概を提出すること。	10:00～ (30分)
	コミュニケーション学専攻 －メディア学コース －社会学コース －臨床心理学コース	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（2,000字程度）、心理職の職能・適性に関する見解（1,000字程度、臨床心理学コースのみ）を提出すること。	10:00～ (40分)
	観光学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（様式自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
経済学研究科	応用経済学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。推薦書（自己または勤務先）、履歴書、入学後の研究計画書（様式、枚数自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
人間環境学研究科	人間環境学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書を提出すること。	10:00～ (20分)
芸術学研究科	音響芸術専攻 ※「演奏分野」を除く	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）を提出すること。	10:00～ (20分)
	造型芸術専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（A4用紙1枚、書式自由）、研究業績一覧、作品または業績資料・ポートフォリオを提出すること。	10:00～ (20分)
体育学研究科	体育学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁40字×30行）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)

研究科名	専攻名	試験科目	試験時間
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書（A 4用紙1頁程度、書式自由）、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）を提出すること。	10:00～ (20分)
理学研究科	数理学専攻 - 数学コース - 情報数理学コース	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3枚程度）を提出すること。	10:00～ (20分)
	物理学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3枚程度）を提出すること。	10:00～ (20分)
	化学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3枚程度）を提出すること。	10:00～ (20分)
工学研究科	電気電子工学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（様式・枚数自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
	応用理化学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3頁程度、様式自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
	建築土木工学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。入学後の研究計画書（様式・枚数自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
	機械工学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。希望研究指導教員の推薦書、入学後の研究計画書（A 4用紙2～3頁、書式自由）を提出すること。	10:00～ (20分)
	医用生体工学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。推薦書（自己推薦書或いは勤務先）、入学後の研究計画書（様式・枚数自由）、臨床経験を示す書類の写し（臨床工学技士の場合のみ）を提出すること。	10:00～ (20分)
情報通信学研究科	情報通信学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。勤務先からの推薦書（入学時に無職の場合は不要）、入学後の研究計画書（様式自由）、希望研究指導教員からの推薦書を提出すること。	11:30～ (20分)
医学研究科	看護学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。勤務先からの推薦書、研究業績一覧を提出すること。	11:30～ (20分)
農学研究科	農学専攻 - 生物資源科学コース - 生命科学コース - 連携大学院	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）を実施。勤務先からの推薦書または自己推薦書、入学後の研究計画書（A 4縦用紙・1,200字程度）を提出すること。	11:30～ (20分)
生物学研究科	生物学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関連する専門を含む）及び入学後の研究計画に関する10分程度のプレゼンテーションを実施。入学後の研究計画書（A 4用紙1～2頁程度・40字×35行）、研究業績一覧を提出すること。	13:30～ (20分)

2. 博士課程

研究科名	専攻名	試験科目	試験時間
総合理工学研究科	総合理工学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション (過去の研究経過及び今後の研究計画について。10分程度) ・面接試問 (プレゼンテーションについての試問。外国語についての学力及び専攻分野に関する口述試験を含む) 	10:00～ (30分)
生物科学研究科	生物科学専攻		

(注) プレゼンテーションの際に総合理工学研究科では、プロジェクトと、RGB端子のケーブル及びHDMI端子のケーブルを準備します。それ以外の接続コネクタを使用する場合は、各自の責任で変換コネクタ等をご持参ください。生物科学研究科では、プロジェクトのみを準備しますが、RGB以外の接続コネクタを必要とする場合は、事前に研究科へ相談してください。詳細については各研究科にご確認ください。

3. 博士課程後期

研究科名	専攻名	試験科目	試験時間
文学研究科	文明研究専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。勤務先からの推薦書または自己推薦書、入学後の研究計画書（様式自由、2,000字程度）、研究業績一覧（修士論文の写しとその内容梗概、あるいは業績を明らかにできる公表論文があれば添付（電子ファイル可））を提出すること。	10:00～ (30分)
	史学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（3,000～4,000字程度）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)
	日本文学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)
	英文学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。自己推薦書、入学後の研究計画書（A4用紙2～3頁程度、1頁につき40字×35行）、研究業績一覧、修士論文の写しとその内容梗概を提出すること。	10:00～ (30分)
	コミュニケーション学専攻 - メディア学コース - 社会学コース - 臨床心理学コース	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。入学後の研究計画書（2,000字程度）、修士論文の写しとその内容梗概、心理職の職能・適性に関する見解（1,000字程度、臨床心理学コースのみ）を提出すること。	10:00～ (40分)
経済学研究科	応用経済学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。推薦書（自己または勤務先）、履歴書、入学後の研究計画書（様式、枚数自由）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)
体育学研究科	体育学専攻	面接：提出書類に基づく面接試問（志望する専攻分野に関する専門及びこれまでの研究業績、入学後の研究計画を含む）を実施。推薦書（自己または勤務先）、履歴書、入学後の研究計画書（様式、枚数自由）、研究業績一覧を提出すること。	10:00～ (20分)

3 試験上の注意

1. 試験について

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参し、試験場入場時に掲示してください。
- (2) 試験当日は、試験中も含め「マスク」を必ず着用してください。ただし、本人確認の際は、一時的に「マスク」を外していただきます。
- (3) 試験場及び試験室入場時には、必ず手指消毒（アルコール消毒）をしてください。
- (4) 他者との身体的距離をとり、接触や会話を極力控えてください。
- (5) 試験開始時間の10分前までに試験場に入場し、着席してください。なお、試験日、試験開始時間は、受験票に記載されていますので、十分確認してください。
- (6) 試験日、試験開始時間及び試験場間違いの受験は一切認めません。
- (7) 試験開始後20分までに試験場にて受付をしない場合は、受験を認めません。
- (8) 試験当日、受験生以外は試験場内に入れません。
- (9) 面接試験の時間・場所については、試験当日にお知らせします。
- (10) 試験場内では、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等の電子機器類の使用を禁止します。入場時には必ず電源を切っておいてください。時計としての使用も認めません。辞書・電卓・通信機器等の有無が判別しづらい時計の使用も認めません。
- (11) 試験場においては、すべて面接担当教員等の指示にしたがってください。したがわない場合は、退場させることがあります。

2. 試験当日の持参品

- (1) 受験票、その他面接試験等に必要なもの。
- (2) 志望する専攻において、P.16「**2** 試験内容」に記載されているもの。
- (3) 昼食は持参してください。

3. 不正行為について

本学では、すべての受験生が公平に受験できるよう入学試験を厳正に実施します。公正な入学試験の実施を妨げる不正行為があったと認められた場合は、以後の受験は認められず、また、本学における当該年度すべての入学試験について無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。

4. その他

- (1) 本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、東海大学オフィシャルサイトより行います。
- (2) 電車遅延等による、試験当日のお問い合わせは、東海大学入試実施本部にご連絡ください。
電話 0463-63-4630（試験当日のみ連絡可能）

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

共通 ②

1 合格発表・入学手続

1. 合格発表

■ 合格発表日

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） 2022年 7月20日（水）

2023年度春学期（第2期） 2023年 3月 3日（金）

合格結果はインターネットのみでお知らせします（大学から通知を郵送することはありません）。合格発表日の午前9時30分より本学オフィシャルサイトにてご確認ください。

※合格通知は「Web入学手続サイト」よりダウンロード（印刷）できます。

合格に関する問い合わせには、一切応じません。

インターネットに接続出来ない、または誤操作等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

■ インターネットによる合格発表利用可能期間

2022年度秋学期／2023年度春学期（第1期） 2022年 7月20日（水） 9:30～ 8月 2日（火） 17:00

2023年度春学期（第2期） 2023年 3月 3日（金） 9:30～ 3月10日（金） 17:00

東海大学オフィシャルサイト <https://www.u-tokai.ac.jp/>

2. 入学手続

■ 入学手続期間

2022年度秋学期 2022年 7月20日（水）～ 8月 2日（火） 17:00厳守

2023年度春学期（第1期） 2022年11月 9日（水）～11月17日（木） 17:00厳守

2023年度春学期（第2期） 2023年 3月 3日（金）～ 3月10日（金） 17:00厳守

入学手続はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトより「Web入学手続サイト」にアクセスし、上記の入学手続期間内に手続を行ってください。

なお、「学費・諸会費」は一括納入となります。

3. 学費・諸会費の返還について

いったん納入した学費・諸会費の返還は、原則として認めません。

ただし、特段の事情により本学への入学を辞退する者は、秋学期入学者：2022年8月31日（水）／春学期入学者：2023年3月31日（金）午後5時〔締切日必着〕までに入学辞退手続を完了した場合に限り、入学辞退を認め、「入学金」を除く学費・諸会費を返還します（詳細については、合格発表後に入学手続要項を参照してください）。

なお、いったん納入した入学手続の学費・諸会費のうち「入学金」についての返還は、いかなる理由があっても認めません。

4. その他の注意

- (1) 出願後、現住所を変更した場合は、志願先のカレッジオフィス（P.5 参照）へご連絡ください。
- (2) 指定の期日までに入学手続をしない場合は、入学を許可しません。
- (3) 電話で学費・諸会費の振込みをお願いすることは一切ありません。
- (4) 出願資格のうち、卒業（修了）見込みで受験し合格した者で、2022年9月末日（秋学期入学者）／2023年3月末日（春学期入学者）までに大学院入学資格を取得できなかった者は、合格取消となり入学資格を失います。
- (5) 出願書類ならびに入学手続上、不正があった場合は、入学後でも合格取消となり入学資格を失います。

5. 入学手続後の提出書類

- (1) 出願資格において、卒業（修了）見込みまたは学位取得見込みで受験し入学手続を行った者は、学生証交付時に卒業（修了）証明書または学位取得証明書を1通提出していただきますので、あらかじめご用意ください。
- (2) 修士課程・博士課程前期への入学手続を行った者で、P.7「**7** 出願資格1.(2)」に該当する者（飛び級）の場合は、学生証交付時に在籍大学の3年次以上の在籍証明書（または退学証明書等、これに代わるもの）及び最終成績証明書（単位数含む）を提出していただきますので、あらかじめご用意ください。
(注) 本学の在学者は、第6セメスターまたは第7セメスターとします。
- (3) 前記の書類提出がされない場合及び出願資格・入学資格要件を満たさない場合は、入学後でも合格取消となり入学資格を失います。
- (4) 修士課程・博士課程前期（P.7「**7** 出願資格1.(2)」に該当する者（飛び級）を除く）への入学手続を行った者で、すでに本学または他大学の大学院において単位を修得している場合、入学時に単位の認定を申請することができます。修得した科目が記載された成績証明書1通と、他大学の場合はシラバスを、あらかじめご用意ください。
- (5) 博士課程・博士課程後期（総合理工学・生物科学研究科を除く）への入学手続を行った者で、大学院修士課程・博士課程前期出身者は、入学時に単位の認定を申請することができます。出身大学大学院の修士課程・博士課程前期最終成績証明書1通と、他大学の場合はシラバスを、あらかじめご用意ください。

2 学費・諸会費

下表は、2022年度秋学期／2023年度学費を掲載しました。

(単位：円)

研究科	費目	総合理工学 研究科	生物科学 研究科	文学 研究科	政治学 研究科	経済学 研究科	法学 研究科	人間環境学 研究科	芸術学研究科		体育学 研究科
									音響芸術 専攻	造形芸術 専攻	
(同時納付金 入学手続と 入学学期)	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	398,000	398,000	309,000	309,000	309,000	309,000	355,500	434,000	409,000	355,500
	計	598,000	598,000	509,000	509,000	509,000	509,000	555,500	634,000	609,000	555,500
(次学期 納付金)	授業料	398,000	398,000	309,000	309,000	309,000	309,000	355,500	434,000	409,000	355,500
	計	398,000	398,000	309,000	309,000	309,000	309,000	355,500	434,000	409,000	355,500
合計		996,000	996,000	818,000	818,000	818,000	818,000	911,000	1,068,000	1,018,000	911,000

研究科	費目	健康学 研究科	理学研究科		工学 研究科	情報通信学 研究科	医学研究科		海洋学 研究科	農学 研究科	生物学 研究科
			数理科学 専攻	数理科学 専攻以外			先端医科学 専攻以外	先端医科学 専攻			
(同時納付金 入学手続と 入学学期)	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	300,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	355,500	389,000	398,000	398,000	398,000	398,000	573,000	398,000	398,000	398,000
	計	555,500	589,000	598,000	598,000	598,000	598,000	873,000	598,000	598,000	598,000
(次学期 納付金)	授業料	355,500	389,000	398,000	398,000	398,000	398,000	573,000	398,000	398,000	398,000
	計	355,500	389,000	398,000	398,000	398,000	398,000	573,000	398,000	398,000	398,000
合計		911,000	978,000	996,000	996,000	996,000	996,000	1,446,000	996,000	996,000	996,000

授業料は、毎年度春学期・秋学期に納入してください。

2年目以降在学中の学費については、諸般の事情及び社会情勢を勘案し、改定することがあります。

- 注意**
- 1) 修士課程及び博士課程前期への入学生
東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の出身者〔学部卒業生・大学院修了生〕の入学金は免除します。
 - 2) 博士課程及び博士課程後期への入学生（医学研究科先端医科学専攻を除く）
東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の出身者〔大学院修了生（修士課程・博士課程前期）〕及び東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の学部を卒業した者の入学金は免除します。
 - 3) 医学研究科先端医科学専攻への入学生
東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の出身者〔大学院修了生（修士課程・博士課程前期）〕の入学金は免除とし、授業料のうち200,000円（年間）を減免します。ただし、東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の学部を卒業した者の入学金は半額とし、授業料のうち200,000円（年間）を減免します。
 - 4) 上表のほかに、下記「諸会費」が必要になります。入学手続時に納入してください。
 1. 学生健康保険互助組合費
（入会金を含め修士課程・博士課程前期は修業年限分、博士課程後期、博士課程（医学研究科）は標準修業年限分を入学手続時一括前納とし、本組合はこの会費によって運営されます。）
 - A. 修士課程・博士課程前期…… 6,200円
 - B. 博士課程後期…… 9,200円
 - C. 博士課程(医学研究科)…… 12,200円
 ※東海大学の出身者〔学部卒業生・大学院修了生〕は入会金（200円）を免除します。
 2. 同窓会費……半期分3,000円
※東海大学の出身者〔学部卒業生・大学院修了生〕は免除します。
 - 5) 文学研究科コミュニケーション学専攻臨床心理学コースにおいて、公認心理師試験の受験資格及び日本臨床心理士資格認定協会が実施する臨床心理士資格試験の受験資格を取得するためには、上記のほかに実習費が必要となります。
 - 6) 医学研究科看護学専攻のCNSコースの履修者については、上記のほかに実習費が必要となります。
（1年次秋学期60,000円、2年次春学期60,000円、2年次秋学期60,000円）

3 個人情報活用の活用について

本学で取得した個人情報の利用方法は、以下のとおりといたします。

- ・入学選抜、学生証交付など、出願から入学までの一連の業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・入学後の修学（履修登録、名簿作成、学業成績等）、学籍（学籍処理、証明書発行、学位記（卒業証書）発行等）、学生生活（奨学生選考、健康診断、各種登録申請、施設利用等）に関する業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・統計集計結果の公表は、個人が特定されないよう匿名化された情報に限ります。

※上記、一連の業務を外部に委託する場合は、委託業務運営が健全に行われていることを事前に確認し、機密保持の守秘義務を定めた契約を締結して適正に管理・監督いたします（統計処理にあたり、外部の個人情報を活用する、または本学が取得した個人情報を外部に委託し、統計集計を行うことを含む）。

4 安全保障輸出管理について

東海大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「東海大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し、この規程に則した安全保障輸出管理上の懸念の有無について、審査を実施しています。

規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、留意してください。